

県 央

相続や遺言書 基礎知識学ぶ

よい遺言の日
ちなみセミナー



「よい遺言の日」(4月15日)に合わせ、相続手続支援センター群馬(高崎市問屋町)は14日、同市のイベント高崎で遺言相続セミナーを開いた。2回の開催で計45人が参加し、相続や遺言の基礎知識を学んだ。同センター専任相談員の戸祥法さんが講師を担当。相続人の間で起きた争い事の具体例を挙げながら、遺言書の利点や実際に作成する際の注意点を紹介した。写真。

高 崎

「よい遺言の日」(4月15日)に合わせ、相続手続支援センター群馬(高崎市問屋町)は14日、同市のイベント高崎で遺言相続セミナーを開いた。2回の開催で計45人が参加し、相続や遺言の基礎知識を学んだ。同センター専任相談員の戸祥法さんが講師を担当。相続人の間で起きた争い事の具体例を挙げながら、遺言書の利点や実際に作成する際の注意点を紹介した。写真。

「戸さんは「遺言書がないだけで争いが起る」とがある。残さ

前 橋

共に前橋市在住で、作詞を手がける閑野房次さん(85)と歌手として活動する青木敏之さん(71)が、市内の祭りをテーマにしたオリジナル曲のCD「粋な街まえばし」を制作した。

初市、七夕、前橋の市内3大まつりを題材に「男気競うハシゴの

市内3大まつり

題材に楽曲制作



(藤井乃歩)



心に約200枚を無料配布した。問い合わせは閑野さんが会長を務める建設会社「閑野組」(2027・243・1455)へ。

(田島聡子)

にぎやかに

まーや



人形劇や和太鼓などを披露する「第10回プチにぎやう寄席&まーやの春り」が、前橋市のまーやの家で開かれた。多く家族連れが訪れ、創作形劇や和太鼓の力強い奏を楽しんだ。

和太鼓チーム「しあせ太鼓」(前橋市)によ

前 橋

論理的に意見を伝える力を学んできた生徒の成果発表が14日、前橋市の共愛学園高で行われた。同校2年生約300人が「交流サイト(SNS)は規制すべきか」「同時集合学習にしかない良さ」について意見を発表し、議論した。

議論深めて 成果を発表

共愛学園高で生徒ら

教室で学ぶ同時集合学習の利点を巡る発表で、生徒は「友達と一緒の方が先生に質問しやすい」「見張られている気がして集中できる」と説明。共愛学園前橋国際大デジタル共創学部が発表生徒と議論し、生徒の意見に納得したり、「実はデジタルの方が監視しやすい」と打ち明けた。SNSの在り方には「匿名だから



意見を発表する生徒

らこそ発信できる内容がある」と違った情報や偏った意見があふれる今のままでは規制すべきだ」との両論が出た。成果発表は同校と同大デジタル共創研究センターが開催。生徒はコミュニケーション指導を専門とする外部講師から、根拠と事例を挙げて論述する方法を1年間学んだ。

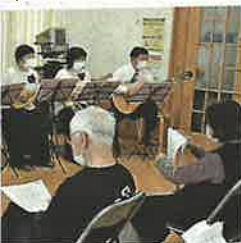
(藤井乃歩)

前 橋

住民同士が交流する場をつくらうと、前橋市天川原町一丁目自治会は14日、同自治会館で「ふれあいサロン」を開いた。伊勢崎市を中心に活動する中央マンドリンクラブ(高橋清代表)が演奏し、町民約30人が優しい音

前 橋

天川原町一丁目自治会がサロン



活動する中央マンドリンクラブ(高橋清代表)が演奏し、町民約30人が優しい音

和6年4月15日



多胡 悠平ちゃん (上野)



いしだん

同窓万歳



の340円増の40は10円増のが、保護者度と同じく置く。本年用基本物資